

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ぱれっと城間 (放デイ)				
		公表日 令和8年5月29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	現在、第三者による外部評価は行ってないが、法人内で支援内容や運営について話し合う機会を設けており、改善点を共有しながら質の向上に努めております。	現時点では第三者による外部評価を実施していないため、今後は外部評価の必要性や実施方法について検討してまいります。あわせて、法人内での振り返りや自己評価の結果を職員間で共有し、業務改善につなげてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		アセスメント内容や日々の観察記録について、職員間で理解に差があるため、職員がアセスメントの目的や確認項目を共通理解できるよう整理します。あわせて、記録や共有の流れを見直し、一貫した計画作成につなげてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		活動については、習慣やルールの定着を図るため、数日間同じプログラムを実施する場合があります。今後は、活動内容が偏らないよう工夫するとともに、同じ活動を継続する療育上のねらいを職員間で共有し、支援の意図を共通理解できるよう取り組んでまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		定期的なモニタリングは実施しておりますが、計画の見直しに関する職員間の共通理解に課題があるため、説明を丁寧に行いながら、支援計画の見直し内容を職員間で共有してまいります。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	1	職員の助言を参考にしながら活動内容を見直し、より子どもが楽しめるよう改善を図っています。	放課後等デイサービスの活動については、「4つの基本活動」を組み合わせる支援を行っています。一部で取組が不十分との回答もあるため、各活動がどの基本活動に当たるかを職員間で確認し、共通理解を図りながら支援に取り組んでまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行した事例はありませんが、今後該当する事例が生じた際には、支援内容等の情報提供を行ってまいります。あわせて、職員の制度理解の促進にも取り組んでまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		地域の児童発達支援センター等に相談・助言を受ける機会を、必要に応じて確保できるよう調整してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		日程が合う場合には積極的に参加しておりますが、参加内容の職員間での共有が十分でない状況も見受けられるため、内容を共有する機会を設け、職員間の共通理解を図ってまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		令和7年の夏に保護者懇親会を開催し、療育内容を共有する機会を設けました。参加できなかった保護者もいたため、今後は開催回数や実施方法を検討しながら、家族支援に関するイベントを継続して提供してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		療育内容の共有や保護者同士の交流促進を図るため、令和7年の夏に保護者懇親会を開催するとともに、令和8年3月にはきょうだい児も参加できる「ブラネタリウム鑑賞会」を開催しました。今後も、保護者やきょうだい児が参加できるイベントを提供してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		苦情や相談への対応手順を職員間で確認し、丁寧な対応を継続します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		昨年度は年度途中の人事異動等もあり、地域に開かれた取り組みを十分に実施できない状況が続いていました。一昨年度には地域を巻き込んだイベントも開催していたことから、今年度はその取り組みを再度進めるとともに、当事業所は自治会にも加入しているため、自治会活動への参加などを通して、地域との関わりをより深める活動にも取り組んでまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		BCPの策定および計画に基づく訓練は実施していますが、BCPの内容や災害時の役割分担について職員間の理解に差があります。今後は、訓練時にBCPの内容を確認し、非常時の対応を共通理解できるよう取り組んでまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		服薬や予防接種、持病等については、アセスメント時に把握し職員へ共有しております。今後は、共有した内容が職員へ確実に伝わっているか確認しながら、必要な対応を進めてまいります。
非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		虐待防止研修は毎年実施しています。欠席等で受講できなかった職員への対応方法を検討するとともに、虐待防止に関する職員の理解を深め、適切な支援につなげてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		